



2022年3月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

暖かい日と寒い日を繰り返して、少しずつ春が近づいてきています。早いもので、今年度ももうすぐ終わりを迎えようとしています。一年間を振り返ると、かわいいいちご組の子どもたちの成長を感じます。登園時にお家の方と離れる時泣いていた子どもたちが、今では笑顔で登園してくれるようになりました。保護者の方が「いっぱい遊んでね」「楽しく過ごしてね」と毎日送り出してくださったこと、保護者の方々のたくさんのご理解とご協力に心から感謝しています。本当にありがとうございました。3月下旬には、一足早くばなな組の保育室で生活するようになります。詳しい日時はまた後日お伝えしますが、送り迎えの支度の変更点など、再度確認をよろしくをお願いします。



いちご組の子どもたちは少しずつ言葉が増え、気持ちを伝えようとする力が伸びてきています。今はまだ大人の思うような伝え方ではなく、泣いたり怒ったり大声をあげたりする段階です。保護者の方からも「〇〇ができなくて大泣きだった」「〇〇をしたがらなくて困った」という家庭での様子を伺っています。思い通りにならない葛藤を経験して、我慢したり切り替えたりする力がついていきますが、それまでは大人もどう関わったら良いのか悩む時期でもあります。

子どもによって、その時によって適した対応の仕方が変わってくるので保育者も試行錯誤しています。私たちが大切にしているのは、まず気持ちを受け止めることです。「そうなのね、今は〇〇の気持ちなの」「イヤか～、じゃあ後でしょう!」と言ったあと、何か楽しいことをしてからまた誘いかけると気持ちを切り替えられることもあります。我慢や切り替えは、まず心が満足してからできるものです。思いを受け止めつつ大切なことは繰り返し伝え、大きく成長するこの時期を丁寧に関わっていきたいと思います。

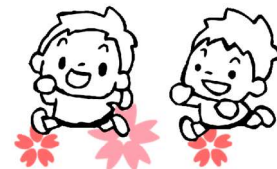
できることがいっぱい♪

よく歩き、動きが活発になっているいちご組の子どもたち。できる気満々で動くので、勢いよく巧技台や棚にごつつんこする姿をよく見るようになりました。ぶつかった後、「オヨ!？」といった様子で、自分でぶつけたところを撫でてみたり「なでなでして～」といった様子で指差しながら来たりします。表現の仕方が豊富になり、言葉や仕草で気持ちを伝えてくるようになりました。友だち同士の関わりも増え、抱きついたり手を繋ぎで一緒に歩いたり。「か～し～て!」や「あ～と(ありがとう)」「だ～じ(大事)」など言葉にして伝える時もあります。

お部屋では坂道の巧技台が人気! 立ったまま登ったり降りたり。大きな遊具を持って登ってみたり、車を滑らせたりと遊び方にも発展がみられるようになりました。身体も大きくなり、段ボールを棚に置いておくと両手を伸ばして落としています。物を積み上げること、上によじ登ること、斜面や段差を登ることは、平面を歩く・走るという動きとはまた違った筋肉を使います。どうやったら落ちないか? バランスを取るには? 大人になると何気なくやっている動きでも、いちご組の子どもたちは頭をフル回転させて楽しんでいきます。



一年間ありがとうございました!



日々成長する子どもたちの姿を毎日楽しみにしていました。あんなことできるようになった、こんな仕草するようになったなど、泣かずに笑顔で、ぎゅっと抱きしめてくれる子どもたちに元気をいっぱいもらっていました。この一年間至らない点多々あったと思いますが、無事過ごせたのも保護者の皆様のご理解とご協力あってのことだと感謝しています。残りわずかですが、子どもたちと一緒に過ごせる時間を大切にしたいと思っています。ありがとうございました。

保護者の皆様には、この1年ご理解とご協力をいただきまして心から感謝しております。入園当初は慣れない環境に不安でいっぱいだったと思いますが今では笑顔がたくさん見られて仕草や単語で思いを伝えてくれて、子どもたちの成長に驚きと嬉しさを感じながら日々過ごしています。残りわずかですが、最後まで子ども達と楽しく過ごしたいと思っています。本当にありがとうございました。